

三峰川の石ころ標本

みづ1



みづ5



みづ9



みづ13



みづ17



みづ2



みづ6



みづ10



みづ14



みづ18



みづ3



みづ7



みづ11



みづ15



みづ19



みづ4



みづ8



みづ12



みづ16



みづ20



三峰川の石ころ標本ラベル

<u>みぶ 1</u> 石の名前 蛇紋岩 石の区分 変成岩 石のとくちょう 濃い緑色。手触りはツルツルしている。	<u>みぶ 5</u> 石の名前 石灰岩 石の区分 堆積岩（生物岩） 石のとくちょう 表面が粉っぽい。淡い灰色～灰色。やわらかい感じがする。	<u>みぶ 9</u> 石の名前 珪質頁岩 石の区分 堆積岩 石のとくちょう 細かいすじがいっぱいある。つや消し濃い紫色（サツマイモの皮の色）と濃い緑色（かわくと白っぽい）。	<u>みぶ 13</u> 石の名前 安山岩 石の区分 火山岩 石のとくちょう 灰色の中に大きい黒い粒（輝石）と白い小さい粒（斜長石）が混じる（斑状組織の典型例）。	<u>みぶ 17</u> 石の名前 片麻岩 石の区分 広域変成岩 石のとくちょう 白いシマとアズキ色のシマがミルフィーユのようにかさなっている。アズキ色の部分はキラキラしている。アズキ色多め。
<u>みぶ 2</u> 石の名前 蛇紋岩 石の区分 変成岩 石のとくちょう 濃い緑色。手触りはツルツルしている。「みぶ 1」に比べ色が濃い。	<u>みぶ 6</u> 石の名前 緑色岩 <small>（海底に噴出した玄武岩などをもとにした岩石）</small> 石の区分 変成岩 石のとくちょう 緑色をしていることが多い。ずしりと重い感じがする。石灰岩のかけらを含むことがある。	<u>みぶ 10</u> 石の名前 チャート 石の区分 堆積岩 石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。赤っぽい。	<u>みぶ 14</u> 石の名前 マイロナイト 石の区分 変成岩 石のとくちょう 白い粒がひきのばされた形をしている。 	<u>みぶ 18</u> 石の名前 片麻岩 石の区分 広域変成岩 石のとくちょう 白いシマと黒色のシマが交互に積み重なっている。
<u>みぶ 3</u> 石の名前 結晶片岩 石の区分 広域変成岩 石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。緑と白のシマシマ。全体的に緑っぽい。	<u>みぶ 7</u> 石の名前 砂岩を含む泥岩 石の区分 堆積岩 石のとくちょう 砂岩の層（白っぽい部分）が変形している（一部ちぎれている）。	<u>みぶ 11</u> 石の名前 チャート 石の区分 堆積岩 石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。ピンクっぽい。	<u>みぶ 15</u> 石の名前 はんれい岩 石の区分 深成岩 石のとくちょう ホルスタイン状の花こう岩の中の黒っぽい部分だけになったもの。黒い結晶（角閃石）が目立つ。	<u>みぶ 19</u> 石の名前 アプライト 石の区分 深成岩 石のとくちょう 花こう岩よりも黒い粒（黒雲母など）が少なくて白っぽい。赤っぽい粒（ざくろ石）が見られる。
<u>みぶ 4</u> 石の名前 砂岩 石の区分 堆積岩 石のとくちょう よく見るとツブツブが見える。黒っぽい石（泥岩）のかけらが入ることもある。砂が固まった岩石。	<u>みぶ 8</u> 石の名前 泥岩の混じる砂岩 石の区分 堆積岩 石のとくちょう よく見るとツブツブが見える。砂が固まった岩石。つや消しブラック（泥岩）の部分もある。	<u>みぶ 12</u> 石の名前 チャート 石の区分 堆積岩 石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。灰色っぽい。	<u>みぶ 16</u> 石の名前 花こう閃緑岩 石の区分 深成岩 石のとくちょう 花こう岩の仲間 花こう岩に比べると黒い粒（黒雲母や角閃石）がやや多い。	<u>みぶ 20</u> 石の名前 花こう岩 石の区分 深成岩 石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石（等粒状組織の岩石の典型例） カリ長石が白いので全体的に白っぽい。

三峰川の石ころの特徴

緑色岩や結晶片岩が多いので全体的に緑っぽい。

高校の地学の教科書に登場する広域変成岩の代表である片麻岩と結晶片岩を同時に見ることができる貴重な河原である。アクセスもしやすい。

中央構造線よりも東側から流れてくるので、結晶片岩（みぶ3）などの広域変成岩や砂岩、石灰岩、チャート、緑色岩などの付加体堆積物を起源とする礫（みぶ4～12）がたくさん見られる。

県内でもっとも簡単に石灰岩が拾える河原である（少なくとも石ころ標本を作製した9河川の中では。小渋川でも拾えるが、小渋川のものは結晶片岩化しているものが多い）。

また、中央構造線の西側も流域にもつので、伊那山地（中央構造線と伊那盆地の間にある南北に長い山地）をつくっている花こう岩や片麻岩（広域変成岩の一種）も見られる（みぶ16～20）。

また、マイロナイトと呼ばれる引きずられる力によって含まれる鉱物が変形した珍しい変成岩（動力変成岩と呼ばれる）が見られることもセールスポイントである（みぶ14）。この岩石は地下深く（地下30kmくらい）の断層の動きによってできるものなので、中央構造線のような巨大な断層の付近でしか見ることができない。

三峰川の河原



三峰川の石ころ



三峰川と南アルプス北部

天竜川に合流する三峰川（写真左端の川）と南アルプス北部（塩見岳よりも北側）の山並み。

鋸岳 駒ヶ岳 仙丈ヶ岳 北岳 間ノ岳

塩見岳

伊那市伊那スキーリゾートより

